

令和2年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	制度会計特論 A		担当教員	安藤 鋭也		
	英語授業科目名	Legal Financial Accounting A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	会計学の基礎的知識を有していることが望ましいです。 学部「財務会計論」その他財務会計に係る講義履修後の履修をお勧めします。						
テーマ・副題	制度会計のあり方について。						
授業の教育目的・目標	制度会計の現状を理解し、そのあり方を吟味します。 前期の特論 A では、財務諸表の認識・測定に係る理論と構想を理解します。 後期の特論 B では、近年の会計基準の動向を理解します。						
授業の理解度の到達目標	制度会計が抱える問題点や課題を理解します。その上で自分なりの視点を持つことが目標です。						
授業キーワード	日本基準(含む企業会計原則)、トライアングル体制(会社法、金融商品取引法、法人税法)、IFRS、米国会計基準。						
授業の内容	大学院の授業ですので講義は最低限とします。双方向の議論を通して制度会計の深い理解に努めます。						
授業の方法	受講者が順番に発表する形でテキストを輪読します。						
授業展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の企業会計(1) IFRS の浸透 2. 現代の企業会計(2) ROE を梃子とした資本生産性の向上 3. 企業会計の本質とフレームワーク(1) 繊細で多様な事業の言語 4. 企業会計の本質とフレームワーク(2) 収益費用観と資産負債観 5. 会計制度の論理と体系(1) 会計の基礎知識 6. 会計制度の論理と体系(2) 会計基準の意義 7. 企業のディスクロージャー(1) ディスクロージャー制度の革新 8. 企業のディスクロージャー(2) 事業構造改革を映し出す統合報告 9. 損益計算書のパラダイム(1) 損益計算書の役割と基本フォーム 10. 損益計算書のパラダイム(2) 実現主義の変遷 11. 経営パフォーマンスの測定と表示(1) 損益計算書によるパフォーマンス評価 12. 経営パフォーマンスの測定と表示(2) キャッシュ・フロー計算書によるパフォーマンス評価 13. 貸借対照表のパラダイム(1) 貸借対照表の基本フォーム 14. 貸借対照表のパラダイム(2) 資産・負債の評価基準 15. 資産の会計(1) 流動資産の会計 						
成績評価方法	授業への取組み姿勢(40%)、発表内容のレベル(30%)、レポート内容のレベル(30%)で評価します。						
成績評価基準	総合点が 80 点以上を A、79~70 点を B、69~60 点を C、それ以下を D とします。 欠席が 1/3 以上の場合は E となります。						
テキスト	伊藤邦雄(2018)『新・現代会計入門(第3版)』日本経済新聞出版社。						
参考図書	適宜ご紹介します。						
準備学習に必要な時間又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	発表者は、担当箇所を十分理解した上で発表に臨むこと、所要部数のレジメを作成し配布することが必要です。 出席者は、テキストの予習・復習を欠かさないこと、疑問点や問題意識を明確にして出席することが必要です。						
学生へのメッセージ	制度会計や関連する様々な事象に関心を抱くこと、授業に主体的・積極的に参加することを期待します。						
オフィスアワー	火曜 3 時限、水曜 2 時限(メールによる事前のアポイント取り付けが望ましいです)。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828	(内線: 5511)	メールアドレス	andou@jobu.ac.jp		
人数制限	特に定めません。						

